

たいしつ 体質を作ろう

月曜日

5

きょうのみことば

テモテ 2:7

わたしが言っていることをよく考えなさい。主はすべてのことについて、理解する力をあなたに必ず与えてくださいます。

ハーバード大学に通う学生たちの中で「4時間以上、寝るならば、地獄に行く」という言葉があります。じょうだんですが、そのくらい一日に12~13時間を集中して勉強しなければ、学校の授業についていくことができないということです。しかし、ハーバード大学の学生は、「考えは自由に、生活は厳しく」というハーバードだけの体質を作って、世の中に出て行ったとき、成功の座に上がります。

1. 福音体質

煮物一杯で長子の権利を奪ったヤコブは、兄エサウから逃げて母の兄であるおじラバンの家で20年間、暮らしました。ヤコブは熱心に生きたのですが、苦難が絶えなかったのです。しかし、ヤボクの川で神様の使いと戦って勝つ祈りを体験した時「イスラエル」という名前の祝福を受けました。レムナントは、体質になる時まで、ヤコブのようにあきらめないうで、最後まで忍耐しながら挑戦しなければなりません。

2. 3つの体質

レムナントがかならずそろえなければならぬ3つの体質があります。最初に祈りの体質です。単純に習慣的に祈るのではなく、体質にならなければなりません。二つ目、勉強体質です。勉強を熱心にだけするのでなく、幸せに楽しむ体質を持たなければなりません。三つ目、伝道体質です。友だちをとにかく教会に連れてきて座らせるのではなく、友だちを愛する心を抱いて、そのたましいにたいして祈りながら、心よりみことばを伝える体質をそろえなければなりません。レムナントは、この3つの体質になる時まで神様の恵みを慕い求めなければなりません。

神様、成功者の体質をそなえることができるように、みことばをくださって感謝します。すべてのことについて理解する力を与えてくださるといふみことばが体質になるまで、平安に定刻、常時祈りをします。このみことばが理解でき、祈り・勉強、伝道の体質がそなえられるように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼12時 教会のために祈りましょう。夜9時 RUTCのために祈りましょう

神殿建築のために

ワンネス (Oneness、ひとつ) となったイスラエル
 ダビデのあとに王になったソロモンは、命令されたとおり
 神殿建築を始めました。そして、すでに祭司とレビ人は、
 神殿を建てる準備をしておえています。すべての
 技術がある人もソロモンを助ける準備ができていました。
 指導者とすべての民はソロモンが「神殿建築を始める」と
 言うことだけを指折り数えて待っていたのです。
 イスラエルは、ソロモンを中心にワンネスになって、
 神様の神殿を建築しました。神様は RUTC も、このように
 建てることを願っておられます。レムナントが、この
 働きに一番先頭に立つことを願っておられます。



ダビデの準備したソロモン神殿

神殿を建築する土地
 神様は、ダビデに神殿を建築できる土地を見てくださいました。
 その土地は、エルサレムの中にいたエブス人オルナンの土地でした。
 ダビデは、その土地を見て言いました。

「ここに主なる神様の神殿を建て、イスラエルの祭壇を
 築こう」

ダビデは、その土地を金のシエケルで重さ 600 シエケルで
 買いました。そして、そこに神殿を建てる
 心を持ちました。その土地はアブラハムが
 イサクを神様にささげた場所でした。



エルサレム

神殿建築のための準備

ダビデは自分の手で神殿を建築したかったので、しかし神様はおゆるしになりませんでした。ダビデは、がっかりしませんでした。かえって、神殿建築に必要な準備を着々としたので、ダビデだけではなく、イスラエルの人と、イスラエルに住む異邦人たちもいつしよにしました。人々は、神殿建築に必要な金・銀・銅・鉄・木、石、いろいろな宝石、杉の木などを蓄んで持ってきました。

「もう、持つて来なくてよい！十分だ」と言うほど人々がたくさん持ってきたのです。すべての民はひとつの心になって、神殿建築を準備したので、ある日、ダビデはソロモンを呼びました。幼くて弱く見えるソロモンを見て、ダビデは言いました。



2



神様の神殿を建築するソロモン

「私の子、ソロモン。神様にお任せして、心をすべてささげ、蓄んでお任せなさい。主は、すべての人の心をみなご存じで、人の考えもみな読みとられる。神様の助けを求めるなら答えられるだろう。そして、これが神様の設計図だ。主が聖所となる神殿を建てさせようと、あなたを呼ばれたことを知らなければならぬ。力を出して、神殿を建てることをなしとげなさい。強く、雄々しく、このことをなさい。おそれたり、おののいたりしてはならない、私の神である主は、あなたとともにおられ、神殿を建てるすべての仕事を終えるときまで、あなたを助けられる。あなたを離れられることはない」

3



火曜日

6

げんば レムナントが見るべき現場

きょうのみことば

使徒 2:43-47

そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。
(46-47)

神殿の美しの門の前で足のなえた人が、ものごいをしていました。人々は、足のなえた人にコインを投げてあげました。しかし、ペテロとヨハネはコインをあげませでした。「私にあるものをあなたにあげよう。ナザレのイエス・キリストの名前で起きて歩きなさい」と言いました。ペテロとヨハネは、足のなえた人に本当に必要なことは、福音だと知っていたのです。

1. 目には見えません

人の心、考え、気分のようなものは目に見えませんが、とても重要です。神様の願いも目に見えませんが、それで、パリサイ人は、律法と伝統にすべての関心を注ぎました。神様の願いには、まったく心向けませんでした。しかし、初代教会は違いました。たとえ弱くて迫害を受けたとしても、世界を福音化するように望んでおられる神様の願いを心に抱きました。イエス様をキリストとして受け入れるすべての人が、目に見えない教会であることを知って、行く所々に目に見えない教会である伝道者をたてました。

2. 目に見えます

目に見えない教会をたてたとすれば、もう目に見えることを正しく見なければなりません。神様は、レムナントのひとりひとりにビジョンをくださっています。レムナントは、神様が自分にくださったビジョンを先に見るべきです。そのビジョンが目の前に絵を描くように見えて(事実化)、現実の前になされる(現実化)方法は、祈りしかありません。神様は伝道者として呼ばれた私に、時代的で、絶対的で、当然の答えを備えられました。

父なる神様、世界福音化の重要なビジョンをあたえてくださって、ありがとうございます。当然に来るしかない答えをにぎって、現場を生かす証人として用いられます。私を用いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



レムナントの神様、主

水曜日

7

きょうのみことば

出 20:1~2

それから神はこれらのことばを、ことごとく告げて仰せられた。「わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。

エジプトから脱出したイスラエルがシナイ山にまで来ました。神様は、イスラエルに十戒を与えられる前に、「わたしはあなたをエジプトの地、奴隷の家から連れ出したあなたの神、主である」と言われました。神様は他の人の神様ではなく、私の神様です。レムナントは、どんなことをしても、この事実を一番最初に心にとめなければなりません。

1. 今までともにおられた神様の証拠をにぎりましょう

罪とのろいとサタンから救われた神様が、今でも私とともにおられます。信仰生活をちゃんとしていなかったのでしょうか。教会で大きい失敗をしたのでしょうか。大丈夫です。私たちは、すべて、神様の恵みで救われました。

2. これからもともにおられる神様の恵みに感謝しましょう

救われて今まで導いてくださった神様は、レムナントがこれからはなければならない重要なことにもともにおられます。最後まで守って、祝福して下さいます。神様は私を通してなしとげようと思っておられるビジョンがあります。それを祈りの課題としてにぎってみましょう。そして、具体的に頭の中に絵を描くように夢見してみましょう。

3. 最も重要な福音(いのち)をにぎって祈りましょう

未来をながめながら祈りもして、挑戦もするのですが、今、すぐに、どうしようもないいろいろ問題がありますか。なおさら福音をにぎって祈ってみましょう。傷ついた心を暖かく抱いてくださって、なくさめてくださる神様の御手を感ずることが出来ます。そして、その問題が、その痛みが、福音を伝える土台になる体験をしましょう。

私を罪ののろいから救い、今まで私とともにおられ、これからもいつもともにおいてくださる神様に感謝します。福音をにぎって、神様がなされる未来を頭の中に絵で描いて、祈りたいです。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

✪ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



わたし

私の主なる神様！

エジプトから出てきたイスラエルの民は、荒野を通りシナイ山にきました。神様は、とても重要なみことばをくださるようです。出エジプト 20章 1～17節にその内容が出てきます。一度、開けて読んでみてください。あれ、絵がちょっと違うようですよ。まちがいを 13個見つけてみてください。



子としてくださる霊

木曜日

8

きょうのみことば

ローマ 8:12-17

あなたがたは、人を再び恐怖に陥れるような、奴隷の霊を受けたのではなく、子としてくださる御霊を受けたのです。私たちは御霊によって、「アバ、父」と呼びます。(15)

ひとりにいるときは、さびしくて、はじめてのところにいくと、こわいときがあるでしょう。また、お金がないとなぜかはずかしくて不安になることがあるでしょう。さびしさ、こわいこと、おそれ、この心はどこから来るのでしょうか。悪い霊が持ってくる心です。しかし、レムナントはいつでも、どこでも、そのような必要はありません。なぜでしょう。神様の子どもだからです。

1. 神様の原理で子どもにしてくださいました

イエス・キリストを通して神様の子どもになりました。イエス様は眞の神様で、人間の姿でこられた神様のひとり子です。レムナントは、神様が法的に子どもとされた養子です。

2. 悪い霊をくだく權威をくださいました

神様は養子とされただけでなく、おそれをもたらす悪い霊をはねのける權威もまたくださいました。それで、神様を「パパ」と呼んで、隊長であるイエス・キリストの御名によって悪い霊のすべての權威をくだくことができます。

3. 永遠な權威をくださいました

イエス様を通して神様の養子になるように導いてくださった聖霊様(子としてくださる霊)が、レムナントと永遠にともにおられます。それで、どんな状況でも恐れる必要がないのです。堂々と勇氣を出して挑戦してみてください。もちろん、サタンが心の中でささやくでしょう。耳を傾けないでください。すべて、うそです。神様のみことばにだけ、耳をピンと立てて、信仰の挑戦を続けてしてみましよう。

私を養子としてくださった神様の大きな愛に感謝します。聖霊様がいつも私とともにいてくださることが感じられますように。そして、これからは、おそれ、こわさ、なやみ、心配から出て、堂々と挑戦することができるように助けてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン

定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

Who am I?

わたし
私はだれでしょう

Kidz Quiz 9 クイズ

I am Jesus' disciple. ▶ 私はイエス様の弟子です

I was not there the day Jesus came after resurrecting.
▶ イエス様が復活されて来られた日に、私はそこにもいませんでした。

The other disciples said they saw Jesus.

▶ 他の弟子たちは、イエス様を見たと言いました。

But I didn't believe them. ▶ でも私は信じませんでした。

Eight days passed. ▶ 8日間が過ぎました。

I was with the other disciples. ▶ 私は他の弟子たちといっしょにいました。

The door was locked. ▶ 戸にはかぎがかかっていました。

But Jesus came in. ▶ でも、イエス様は入ってこられました。

Jesus stood among us and said,

▶ イエス様は私たちの中に立って言われました

"Peace be with you." ▶ 「あなたがたに平安があるように」

Then he said to me, ▶ そして、私に言われました。

"Put your finger here; see my hands. Reach out your hand and put it into my side. Stop doubting and believe."

▶ あなたの指をここに当てて、私の手を見なさい。あなたの手をのばして私の脇においてみなさい。信じない者にならず、信じる者になりなさい。

I answered, ▶ 私は答えました。

"My lord and my God." ▶ 「私の主、私の神」

Then Jesus said, ▶ そうしたら、イエス様は言われました。

"Because you have seen me, you have believed; blessed are those who have not seen and yet have believed."

▶ あなたはわたしを見たから信じたのですが、見ずに信じる者は幸いです。

わたし
私はだれかわかりますか？
わたし
私はトマス (Tomas) です





RUTC はレムナントの土台

テレビのエンターテイメント番組の中に「 に行くともあって～ 」という、おもしろいゲームをよく見ます。一人でもよくて、友達といっしょでも良いのです。RUTC に何があるか、リズムに乗って言ってみましょう。たとえば「RUTC に行けば、プールがあって～」「RUTC に行けば、図書館もあって～」「RUTC に行けば、パソコンがあって～」

きょうのみことば

ローマ 16:25～27

私の福音とイエス・キリストの宣教によって、すなわち、世々にわたって長い間隠されていたが、今や現わされて、永遠の神の命令に従い、預言者たちの書によって、信仰の従順に導くためにあらゆる国の人々に知らされた奥義の啓示によって、あなたがたを堅く立たせることができる方、知恵に富む唯一の神に、イエス・キリストによって、御栄えがとこしえまでありますように。アーメン。

1. 忠告を大切にしましょう

RUTC は、レムナント(Remnant)が共同体(Unity)になる訓練(Training)を受ける場所(Center)です。RUTC が簡単な周りと同じような建物だったら、何の意味もありません。神様が喜ばれる理由もまったくない建物です。しかし、RUTC は単純な建物を越えて、未来と次世代を生かすレムナント運動の出発点なのです。神様はこの働きに、神様の子どもがすべて一つの心、同じ思いになって祈ることを望んでおられます。少ない献金でも、心よりささげようとしてみましょう。このことに一緒にしようという運動が RUTC 24 なのです。

2. RUTC のために何をささげることができますか

レムナントはまだ、とても幼いのです。大人のようにお金をかせぐことはできません。それで、RUTC 献金を多くだそうと、欲を出さないでください。友だちと競争して出そうとしないでください。心からお昼の 12 時、夜の 9 時に静かに RUTC のために祈ってみてください。少しでもおこずかいをためて、RUTC のために神様にささげましょう。神様は、レムナントの心をみんな知っておられます。

福音でもっと固く立てられる神様、レムナントが福音にあって訓練をよく受けることができるように、RUTC が早く立てられるように、祝福してください。少ない献金ですが、RUTC 24 運動に参加したいです。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



エル・ロイは、見ておられる神様という意味です。


EI ROI

神様は、神様の子どもをどこでも、いつでも見ておられます（偏在）。神様の子どもすべての生活とその心の中までも、みな見ておられます。眠ることも、まどろむこともなく、いつでも見ておられます。友だちから、いじめられて、無視されたときでも、こわい年上の男の子や女の子に、お金をおどしとられたときも、お父さんお母さんから、ひどい目にあうときでも神様は知らないふりをしないで、みな見ておられます。お父さんとお母さんが、そばで私をながめていれば世の中にこわいことが一つもないように父なる神様が、私を燃える炎のような目で見てくださっているから、こわいことはありません。恐れることも、心配することもないのです。

一日、いつもともにおられ、いつも見つめて守ってくださる神様を味わってみましょう。

詩篇139:7-12 私はあるあなたの御座から離れて、どこへ行けましょう。私はあなたの御前を離れて、どこへのがれましょう。たとい、私が天に上っても、そこにあなたはおられ、私がよみに床を設けても、そこにあなたはおられます。私が暁の翼をかって、海の果てに住んでも、そこでも、あなたの御手が私を導き、あなたの右の手が私を捕らえます。たとい私が「おお、やみよ。私をおおえ。私の回りの光よ。夜となれ」と言っても、あなたにとっては、やみも暗くなく夜は昼のように明るいのです。暗やみも光も同じことです。





10日(土)

ちょうじょうむ
頂上に向かって

白差しが、カンカン照りつける昼だったが、木の下でそよそよと吹く風は、額の汗をさましてくれた。ノゾミは、平たい岩を見つると、すばやく走って行った。岩にのぼると、前がさっとひらけて、山の麓の姿が目に入った。ノゾミは、両手を口に当てて、ヤッホーと叫んだ。そして、ふりむいてパパを呼んだ。

「パパ、はやくここに来てみて。山の麓がとても良く見えるよ」

「そうかい。この岩は、途中で休んで行くのに、ちょうど良い所なんだよ。きれいな景色を見ることができるから、良いだろう。ノゾミも気持ち良いだろう」

ノゾミとパパは、しばらく休んで険しい山道に入ってしまった。ノゾミは、息をフーフー言うようになった。また、急な坂では、足が滑ったりもして、とても狭い道では一歩ずつ用心深く足を踏み出したりもした。

いつのまに峰が現れた。ノゾミは、パパの手を握ってより一層、力強く足を踏み出して峰に向かった。

「ヤッホー!ヤッホー!」

峰に到着したノゾミは、周辺をぐるっと見まわした。山の麓の村と、美しい景色がひと目で入ってきた。

「パパ、私たち下からここまで上がってきたんだね。本当に気持ちが良いね」

「そうだね。ノゾミ、お前は、よくやりとげたよ。誇りに思うよ」

パパは、おやつで包んできたキュウリをノゾミにくれた。ノゾミがすがすがしい風に吹かれながら、キュウリをさくさくとかじった。



パパは、山から見下ろしながら、静かに賛美を歌いはじめた
「輝く日をおおぐとき、月星ながむるとき、いかずち
なりわたるとき、まことのみ神を思う。わがたま、
いざたたえよ。大いなるみ神を。わがたま、いざたたえよ
大いなるみ神を」

パパは、山のまわりをもう一度、ぐるっと見回して、すぐに
ノゾミを見つめながら言いました。

「ノゾミ、もう立ち上がろう。ここが終わりではない」

ノゾミは、足をはたいて、すっと立ち上がった。

「パパ、てっぺんまで上がったなら、かならず、自転車を買ってね」

「そうだよ。パパが約束しただろう。しかし、ここまでよくあがってきたが
ここでやめると、何にもならないんだよ。あのてっぺんまで上がらなくては、

ノゾミ、今までよくやったと、自慢だけしていたら、より重要なことを

のがしてしまうんだよ。それで、いつも神様に感謝して、これから、
私たちを通してなされることに向かって、続けて出ていこう。それが

本当にかしいことなんだよ。なぜなら、ここに神様が約束された
もっと大きな報いが待っているんだ。わかるかい。だったら出発！」

ノゾミは、パパの手をぐっと握って、頂上に向かってもう一度
力強く足を踏み出した。そして、神様から受けた答えに感謝して
これから受ける、もっと大きな祝福に向かって

挑戦しなければならないと思った。

◆定刻祈りの点検：

昼 12 時

教会のために祈りましょう。

夜 9 時

RUTCのために祈りましょう

